

第14回青の國若山牧水短歌大会 入賞作品

<青の國短歌大賞>

夏雲に鉄砲百合に蟬声せんせいに問われつづける八月なれば

佐々木 泰三ささき たいぞう 長崎県長崎市

<一般の部 自由題>

○最優秀賞

字は体たいを表すと思ふ牧水はまるくやはらか満月のやう

片伯部 りつ子かたかべ こ 宮崎県延岡市

○優秀賞

濃紺の布に虫くひあまたありあな輝くを夜空とよべり
はねだしの僕たち自分の価値なんて知らずに満員電車で揺れる

大重 知加子おおしげ ちかこ 宮崎県宮崎市
三井 幸乃みつい ゆきの 山梨県甲府市

○優良賞

眠るたび遠くの星に帰っていたいつからあの星消えたのだらう
違うから一輪挿しで咲くことも花束になることもできたね
ほんのりと黄に咲きながら宵を待ついつか気付かれ摘み取らるるを

網頭 翠あどう みどり 東京都東久留米市
てと 大岩根 るり子おおいわね こ 青森県八戸市
奈良県五條市

○佳作

黄昏の空に溶け込む秋あかね君の帰りを待つかのごとく
指先の動く肩甲骨辺り君が此の後抱くとの合図
出来ぬこと出来ぬと言えぬ父がいて今日は介護の認定調査
もういない母の名前が書かれてる私のからだ包むタオルに
みんな手を離さないで離さないで離したら即戦争が来る
喜志子氏の朝夕眺めし鉢伏山の麓はちぶせに今年も山桜咲く
人でなく病が言はせる言葉だと分かってをれど母の暴言
初めての梅干し食べた幼子のお目々は丸くムンクのお口
経を読むように平和を唱えても平和は来ぬと少し言い過ぎる

山口 泰やまぐち やすし 兵庫県神戸市
齋藤 宏子さいとう ひろこ 群馬県高崎市
堀 卓ほり たく 千葉県松戸市
杉山 博代すぎやま ひろよ 静岡県静岡市
稲熊 明美いなぐま あけみ 愛知県名古屋市
青木 節子あおき せつこ 長野県塩尻市
渡邊 照夫わたなべ てるお 埼玉県鴻巣市
松村 信子まつむら のぶこ 東京都杉並区
澁谷 義人しぶたに よしひと 兵庫県豊岡市

ひらがなになる前の文字短冊に誰も読めない君の願いごと
 君の氏なのれどわれはわれなりしシャツのボタンのように生きたし
 清流の青の秘密を探りつつ鮎の遡上を子らとよるこぶ
 牧水の歌碑の回りの草むしる長多喜旅館の主人の生直なもてなし
 廊下には夕陽あふれて道になり歩いていけばふるさとの山
 紫陽花のまだうすみどりの蕾から明日の空のいろが生まれる
 海に居た頃の記憶を思ひ出すために水族館を旅する
 「自分のことをあまり話したことがない」うつむきて泣く君の声待つ
 ビーサンに海を見させてあげなくちゃビーサンとして生まれたんだし
 家族にはならない君と吾をつなぐ冬の光のようなひとすじ
 ふつつかな私を愛した優しさを空の国から待っております

いしだ 石田	やすお 泰生	埼玉県狭山市
いちかわ 市川	とみえ 登美栄	福岡県福岡市
さとう 佐藤	みのる 実	山形県酒田市
なかむら 中村	かずえ 和江	埼玉県白岡市
ほんざわ 本澤	さえこ さえ子	茨城県ひたちなか市
やまだ 山田	ゆみこ 由美子	愛知県名古屋市
きだ 貴田	ゆうすけ 雄介	熊本県熊本市
きたみ 北見	みほ 美保	神奈川県横浜市
なかがわ 仲川	あきみ 暁実	愛知県名古屋市
きぎの 木々乃	なつ なつ	京都府綾部市
あきやま 秋山	かえで 楓	宮崎県宮崎市

<一般の部 題詠「問」>

○最優秀賞

老健の窓の切り取る夕闇に生きた証を問うている父

ほり 堀	たく 卓	千葉県松戸市
---------	---------	--------

○優秀賞

男子にも女子にもなれずゆらゆらと宇宙の狭間で「私」を問う
 大好きな言葉を問えばためらわず「愛」と答える九十の母

うみつき 海月	くらげ くらげ	熊本県熊本市
きのうち 木内	みゆき 美由紀	兵庫県川西市

○優良賞

受け答えもうできぬ父に訪問の看護師はつばめ飛来を告げる
 「この香り甘すぎない」と問ひかけて男孫の遺影に梔子子供ふ
 公園のなんじゃもんじゃの木に問わる「お前は何者」未熟者です

ほりぐち 堀口	りつこ りつ子	群馬県藤岡市
やまがた 山縣	まりこ 満里子	山口県山陽小野田市
ひらお 平尾	じゅんこ 潤子	鳥取県鳥取市

○佳作

身の上を問わず語らずそれぞれの手術の日を待つ癌病棟に
 淋しさの唐突に来て明け方の夢の行方を亡き夫に問ふ
 あの声は何？と問いたる幼子にクレヨン借りてウグイスを描く

やまざき 山崎	ようこ 蓉子	千葉県市川市
おの 小野	とよこ 豊子	宮崎県延岡市
うちなみ 打浪	こういち 紘一	大阪府高槻市

老人は問はず語りに自ずから齢言ひ合ふ幼のごとく
 取り戻しに帰ってくるよね幼問うガガンポの足一本の前に
 まだそこに立っているのと問うように鳩が首振るバス待つわれに
 ここはどこわたしはだれと問うていた不可思議な地ぞグランドキャニオン
 夢だから心配ないと答えてるこれは夢かと問う夢のなか
 馴初めを問ひし日ありき父が語る美談に母はその場離れき
 問いかげを三つ投げれば一つだけ返球がくる夫婦のリズム
 運命の人だつたのか疑問符に背広吊るして真珠婚式
 この家の唯一無二の問題は夫に渡らぬ三連プリン
 類よせて五歳の女孫われに問ふ「ねえ、おばあちゃん恋って知ってる？」
 この問いに必要なのは答えではなくて一緒に旅をする人
 第一問・君は果たして僕が好き？答え次第で二問目がある
 深く抱き歌い語ればこの身もまた君の教室 訪問学習
 「帰ろうか？」二歳児に問うと滑り台登りつつ言う「五歳まで待って」
 幼き日必ず問われし「いくつですか」老いのこの頃また訊かれている
 この国の貧富を悉に見届けぬ三十年の家庭訪問
 初めて！と菓子を楽しむ百ちかき母に思はず初めて？と問ふ

まつおか ゆうこ 松岡 裕子	大阪府四條畷市
いのぐち こう 井ノ口 皓	山口県光市
いだ あさみ 井田 あさみ	滋賀県東近江市
うえまつ きよこ 植松 清子	静岡県裾野市
はたの のぶこ 波田野 伸子	神奈川県横浜市
くわはた ちよこ 桑畑 千代子	宮崎県三股町
おおひら まりこ 大平 真理子	神奈川県川崎市
あきもと さとし 秋本 哲	愛媛県松山市
はやひ さき 早日 早貴	宮崎県国富町
あそう みちこ 麻生 みち子	京都府京都市
てと よしだ しこう 吉田 紫紅	青森県八戸市
なかむら ひでとし 中村 英俊	大分県別府市
つじもと みなこ 辻本 美菜子	北海道伊達市
あじもと みつこ 鮎本 ミツ子	宮崎県宮崎市
うわがみ ただし 宇和上 正	京都府舞鶴市
のだ かおり 野田 香織	愛媛県松山市
	東京都豊島区

<小学生の部>

○最優秀賞

空を見るずっと見ている少しづついやな気持ちがなくなっていく

おの あいか 小野 愛華	日向市立日知屋東小学校	4年
-----------------	-------------	----

○優秀賞

夜の音どこかにひびく虫の声夜中にずっとだれかをよんで
 おみやげをぶつきらぼうにくれる姉わたしの好みちゃんと知ってる

たかはし あいり 高橋 藍里	日向市立日知屋小学校	3年
きくち すず 菊池 すず	日向市立東郷学園	4年

○優良賞

雨の中水にぬれた東ごうで水を愛した牧水思う

まつの えま 松野 咲茉	日向市立日知屋東小学校	6年
-----------------	-------------	----

ひるやすみかにをおいかけつかまえたはじめてさわるたいはさまれた
ゴクゴクとお茶を飲み干し息をつくコップも私もしずくたらし

○佳作

雨の中ここで決めたいパスがきた右足シュートチームのために
おいしいな母の作ったオムライスほかほかとろろ愛じょういっぱい
いぬがすきワンワンなくよいい声だよふわふわするよベロもかわいい
子牛がねどんどん生まれてうれしいなまたまた生まれた名前は青葉
日曜日つりにいったよすごかった五センチぐらいのフグがつれたよ
きもちいいぶらんこにのってひゅうーとかせにくすぐられてるみたい
夏の日川に行きたいまちきれないあひるもぷかぷかぼくもぷかぷか
よるのかわかぞくでさんぼたのしいなほたるはひかるきれいなよみち
本を読むと異世界に入りはやくねたいでも一度行くともうもどれない
おいしげる草木の中にかくれてる朝顔の花一人さびしく
夏休みしゅくだいするのわすれてたかくごをきめてとうこうしよう
おまつりだわたあめたべてきものきておみこしかつぎおもちをなげる
万華鏡不思議な世界広がるよ小さくなって行ってみたいな
わらってるこえがひびいてすぐ気付くいつもやさしいぼくのいもうと
宿題はやれば出来るよすらすらとえん筆のしんすぐ丸くなる
夏の海うきわをもって飛びこもう青空見あげらっこの気分
暑い日は水てっぽうで遊ぶんだつめた水でぬれまくるんだ
夏休み終わらな海ながめつつ休みの宿題終わりが見えず
とうごうはしぜんがいっぱいやまばかりしかやいのししどうろにいるよ
大満足はじめて行った服屋さん自分で選んだネコがらのシャツ

たかぎ あおい
高木 葵衣
ゆばもと ちさ
弓場元 千紗

日向市立美々津小学校 1年
日向市立財光寺南小学校 6年

なかもと ゆうわ
中本 雄羽
おの あやめ
小野 絢萌
なす ゆずは
奈須 結羽
うみの ゆうか
海野 優花
くろぎ あおと
黒木 蒼仁
やの あおい
矢野 愛結
ひらい あもん
平井 杏門
もとみや りお
本宮 凜音
いで そら
井手 蒼空
やまもと てっぺい
山本 哲平
いのうえ ゆうのしん
井上 優之心
こだま はる
児玉 芭琉
いなもち あかり
稲用 明莉
あしはら あお
芦原 蒼
いのうえ ひなの
井上 雛乃
みつぎ いろは
三樹 彩晴
ぼば ゆうご
馬場 悠苒
はますな りりか
瀧砂 凜々花
いなだ ゆい
稲田 結衣
いわもと りな
岩本 理愛

諸塚村立諸塚小学校 5年
日向市立日知屋小学校 5年
日向市立日知屋小学校 2年
日向市立寺迫小学校 3年
日向市立寺迫小学校 3年
日向市立坪谷小学校 1年
日向市立財光寺小学校 3年
日向市立財光寺小学校 4年
日向市立財光寺小学校 6年
日向市立財光寺小学校 6年
日向市立日知屋東小学校 3年
日向市立日知屋東小学校 3年
日向市立日知屋東小学校 4年
日向市立日知屋東小学校 4年
日向市立日知屋東小学校 5年
日向市立日知屋東小学校 5年
日向市立日知屋東小学校 6年
日向市立日知屋東小学校 6年
日向市立東郷学園 1年
日向市立東郷学園 6年

<中学生の部>

○最優秀賞

青空はいつの時代も同じ色過去と現在繋ぐ架け橋

みなみ 南 　　る い 瑠衣 　　日向学院中学校 　　2年

○優秀賞

塾の友いつもいっしょにいたけれどはじめて知った生年月日

すぎもと 杉本 　　けい た 慶太 　　宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 　　1年

夏の海思い出の本落ちている今日はそれを取りに行きたい

くぼ た 久保田 　　ち ひろ 千浩 　　小林市立野尻中学校 　　3年

○優良賞

サンダルを脱いで踏み入る青い海きらりと光るくすぐったさよ

いいじ 飯地 　　とも か 智佳 　　宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 　　1年

そうめんを一心不乱に食べているこれが我が家の夏の始まり

おくの 奥野 　　みず き 瑞紀 　　宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 　　2年

早朝のステージはフライパンの上踊るはじけるタコさんウインナー

かわごえ 川越 　　はる か 春花 　　宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 　　3年

○佳作

夜の道一人で渡る大きな橋水面にうつる私が光る

きよふじ 清藤 　　さ き 彩暉 　　宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 　　1年

帰り道夕日に染まる川面眺めたため息一つ大気震わす

しもむら 下村 　　よし はる 義晴 　　宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 　　1年

運転を長時間して疲れてる親の後ろで眠る子どもたち

わ た 和田 　　れん と 蓮人 　　宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 　　1年

帰り道バス停へ行くこの足の速度を変える西日の角度

こべんの 小辨野 　　りゅうじ 龍二 　　宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 　　1年

街中で君のとなりにいる女性私は何も見ていない はず

りゅう 笠 　　み さ と 美彩都 　　宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 　　1年

春の日の日差しを浴びて居眠り中へビもトカゲもぼくも眠る

きくち 菊池 　　ひゅうが 日向 　　宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 　　2年

会えるかな図書室へ急ぐ昼休み読みたい本は特にないけど

じんのうち 陣内 　　ゆう き 優樹 　　宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 　　2年

毎朝の学校までの競争で自転車に勝つ俊足の妹

まるやま 丸山 　　こ こ 心寧 　　宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 　　2年

厚底のサンダル履いて君越えて君のその目を見下ろしていた

いわつぼ 岩坪 　　もも こ 桃子 　　宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 　　2年

ジーパンの裾が長くて折り曲げる夏休みまであと二ヶ月半

さくらぎ 櫻木 　　りき と 力斗 　　宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 　　2年

髪を切る理由は君が好きだからなんて言えない夏のせいにする

さきた 崎田 　　り お 莉央 　　宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 　　3年

遊び場に昔の僕が蘇りそこの子たちといっしょに遊ぶ

なかがわ 中川 　　り い こ 璃衣子 　　宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 　　3年

水道の蛇口をひねって水まとう水滴越しの君の煌めき

ひらの 平野 　　えい た ろう 詠太郎 　　宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 　　3年

少しでも目を合わせたらだめなんだ好きって思いが溢れ出すから

そのむら 園村 　　こ こ な 心彩 　　都城市立五十市中学校 　　2年

鈴の音と共にたたずむ黒猫は夕闇にとけ姿を消した

きりつじ 切辻 　　すみ れ 董礼 　　小林市立野尻中学校 　　3年

母の日は少し控えめ反抗期感謝を言えないまどろっこしさ
 おしまいを伝えるチャイムなったときすでに下校中帰宅部エース
 朝起きてセミの鳴き声二度寝する私を起こす父の声する
 初盆でお墓に行って空見上げ空にうかぶは祖父との記憶
 凹の文字私と同じへこんでる集合写真一人だけ低い

きたがわ 北川	ゆ な 結己	宮崎市立久峰中学校	2年
なかの 中野	な ゆ た 那由多	宮崎市立東大宮中学校	2年
い き 壹岐	かな み 叶美	日向市立日向中学校	2年
よしかわ 吉川	こう た 昂汰	鵬翔中学校	2年
たちもと 立本	か こ 佳子	鵬翔中学校	3年

<高校生の部>

○最優秀賞

冬の朝病気の父へ手紙かく知らない鳥がただ一人なく

のうとみ 納富	こう が 昊雅	宮崎日本大学高等学校	2年
------------	------------	------------	----

○優秀賞

トースター二枚置かれた焦げたパン私はそれを愛と呼びたい
 夏祭り射的の音と君の姿景品と一緒に私もおちる

の ざき 野崎	あい り 愛莉	宮崎県立宮崎商業高等学校	1年
の ざき 野崎	こ はる 心春	宮崎県立都城農業高等学校	2年

○優良賞

お弁当一口食べれば母の味気持ちが家にひと時帰る
 実習中除糞をしつつ牛ながめ牛が近寄りかまっでの頭突き
 泣いている私の元へ擦り寄るねこ慰めじゃなくごはんの時間

かとう 加藤	あん な 杏奈	宮崎県立宮崎商業高等学校	1年
たにぐち 谷口	きょうへい 恭平	宮崎県立都城農業高等学校	3年
いまべつ 今別府	こうし 煌史	宮崎県立小林高等学校	3年

○佳作

早起きで自分で作るお弁当早く食べたいまだ二時間目
 大会の大事な時にフライング驚きすぎて覚えていない
 朝早く電車に乗って学校へ隣の席の君を待つ時間
 宮崎にデートスポットなさすぎてここ元彼と前にも来たな
 田んぼ道近道をして帰ったら待ち構えてる虫の大群
 青空にピストルの音響く秋君の名前のハチマキ巻いて
 保健所で君と出会ったあの日から家族の一員僕の弟
 さようなら祖母と別れたあの夜の線香かおりまた涙する
 高校で初めて出会った仲間たちみんなでとるぞ測量士補を

もりもと 森本	ことみ ことみ	宮崎県立宮崎商業高等学校	1年
こんどう 近藤	ひろと 佑音	宮崎県立宮崎商業高等学校	1年
こおり 郡	はる な 陽菜	宮崎県立宮崎商業高等学校	2年
うちこば 内木場	さ き 咲希	宮崎県立宮崎商業高等学校	2年
きたに 木谷	たくと 拓人	宮崎県立宮崎商業高等学校	2年
いしかわ 石川	たいと 大翔	宮崎県立宮崎商業高等学校	3年
くぼた 窪田	りこ りこ	宮崎県立都城農業高等学校	1年
さかもと 坂元	きよ な 聖菜	宮崎県立都城農業高等学校	1年
ひろやま 廣山	かずと 一翔	宮崎県立都城農業高等学校	1年

猛暑日牛のふん取り汗をかき牛も同じく多く汗をかく
 十七で祖父に言われたあと三年見てほしかった二十の自分
 帰宅後の一番のワクワク夜ご飯あと何年間あじわえるかな
 弟のからしたトマト育ててます帰って観察一日の終わり
 吉都線都心と違い1日7本その待ち時間も1つの青春
 手紙までプレゼントまで用意した渡すことなく終わる関係
 目を見ればなんでも分かる母だからなんでもないよは通じないよ
 皿洗い好きでしているわけでは無い母のあかぎれ治るといいな
 教室で絵画のような窓を見る季節で変わる僕の美術館
 リア充と波のざわめき海開き僕は一人で遊泳禁止
 それ以上深くはならぬ距離感が ありがとうとは便利な言葉

にしむら けいし
 西村 啓志
 すがまつ ふみや
 菅松 郁也
 なかにし みき
 中西 美姫
 かどた ひろき
 門田 大輝
 いまひがし かなと
 今東 奏翔
 たはら みゆう
 田原 実侑
 まつもと しおん
 松本 聖桜
 いけだ まりあ
 池田 満里愛
 さとう しゅうと
 佐藤 蹴斗
 たにやま こうき
 谷山 光輝
 やまだ あおい
 山田 葵

宮崎県立都城農業高等学校 2年
 宮崎県立都城農業高等学校 2年
 宮崎県立都城農業高等学校 3年
 宮崎県立都城農業高等学校 3年
 宮崎県立都城農業高等学校 3年
 宮崎県立小林高等学校 3年
 宮崎県立小林高等学校 3年
 宮崎県立小林高等学校 3年
 宮崎県立日向工業高等学校 1年
 宮崎県立日向工業高等学校 3年
 宮崎県立富島高等学校 1年